

『営業地区内の景気動向調査』

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 調査内容 | 平成22年4月～6月期の実績
平成22年7月～9月期の予想 |
| 2. 調査対象
(業種別内訳) | 当金庫営業地域内の企業 合計 60社
製造業 21社 卸売業 4社
小売業 13社 サービス業 6社
建設業 12社 不動産業 4社 |
| 3. 調査担当 | 江差信用金庫
業務推進部 業務企画課 |

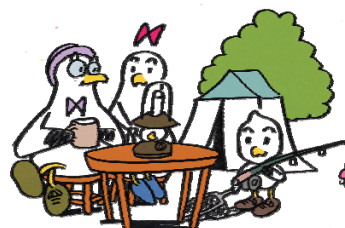
☆ 目次 ☆

概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査～中小企業が金融機関に期待すること…①	P. 19
特別調査～中小企業が金融機関に期待すること…②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。

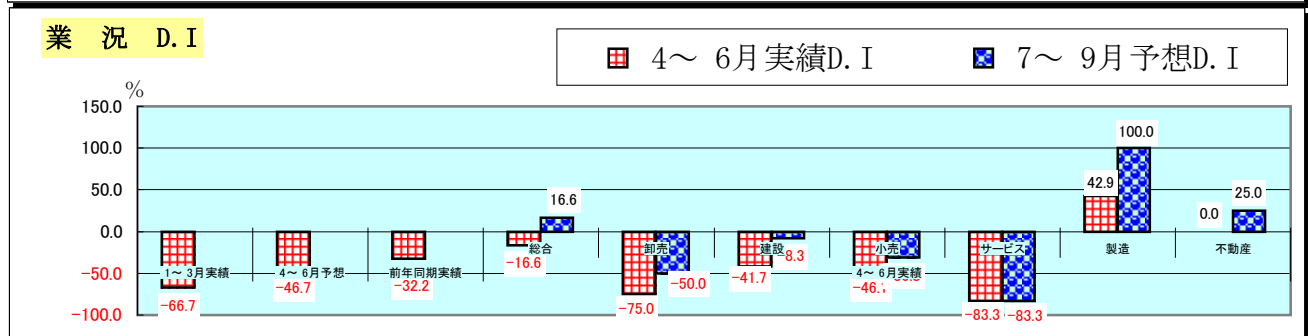
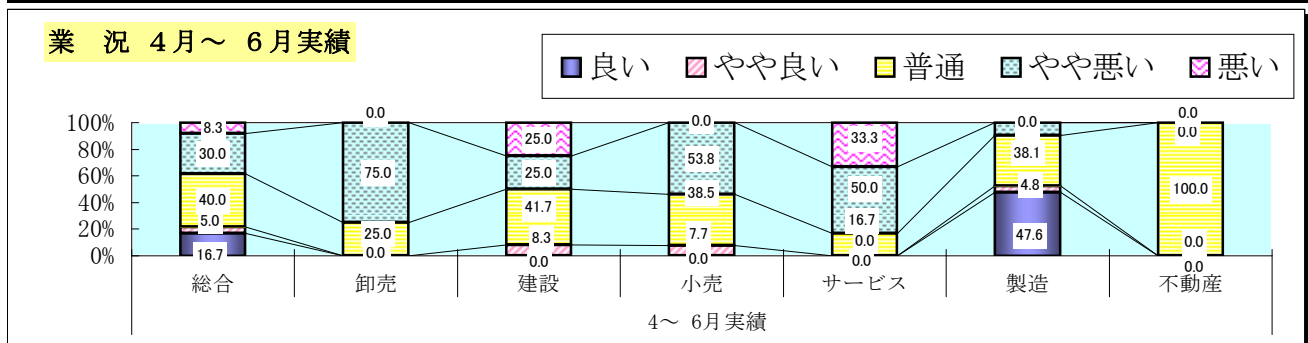


URL <http://www.e-shinkin.co.jp>



1. 概 況

概 況	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-66.7	
4～6月予想						-46.7	
前年同期実績						-32.2	
4～6月実績総合	16.7	5.0	40.0	30.0	8.3	-16.6	16.6
卸売	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	-75.0	-50.0
建設	0.0	8.3	41.7	25.0	25.0	-41.7	-8.3
小売	0.0	7.7	38.5	53.8	0.0	-46.1	-30.8
サービス	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	-83.3	-83.3
製造	47.6	4.8	38.1	9.5	0.0	42.9	100.0
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0



◇ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

平成22年4月～6月期の業況判断D Iは▲16.6と1～3月期(前期) に比べ50.1ポイント改善となり、前年同期比でも15.6ポイント改善を示しました。

今期の売上額判断D Iは▲21.8と、前期比59.9ポイントの改善がみられ、収益判断D Iも前期比55.0ポイント良化の▲26.6となりました。

平成22年 7月～9月期(来期)の予想業況判断D Iは16.6と、今期実績比33.2ポイントの改善が予想されており、経営者のマインドは業況の良化を見込んでいます。

◇ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫総合研究所調べ)

平成22年4～6月期(今期)の業況判断D Iは、前期比7.6ポイント改善の▲39.7と5四半期連続の改善で、これまで緩慢だった改善基調もやや強まりました。

収益面では前年同期比売上額および収益の判断D Iが、それぞれ▲26.4、▲28.3と、ともに前期比10ポイント超の大幅改善となりました。また、設備投資実施企業割合は16.5%と、前期比1.4ポイント上昇しました。

業種別の業況判断D Iは、小幅悪化した建設業を除く5業種で改善しました。また、地域別には四国を除く10地域で改善しました。

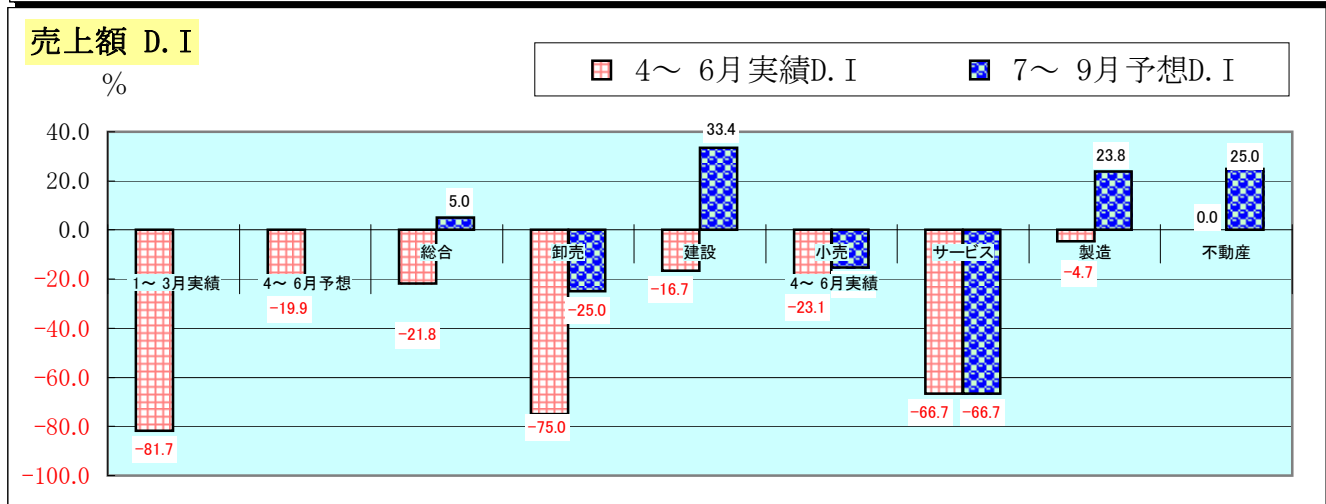
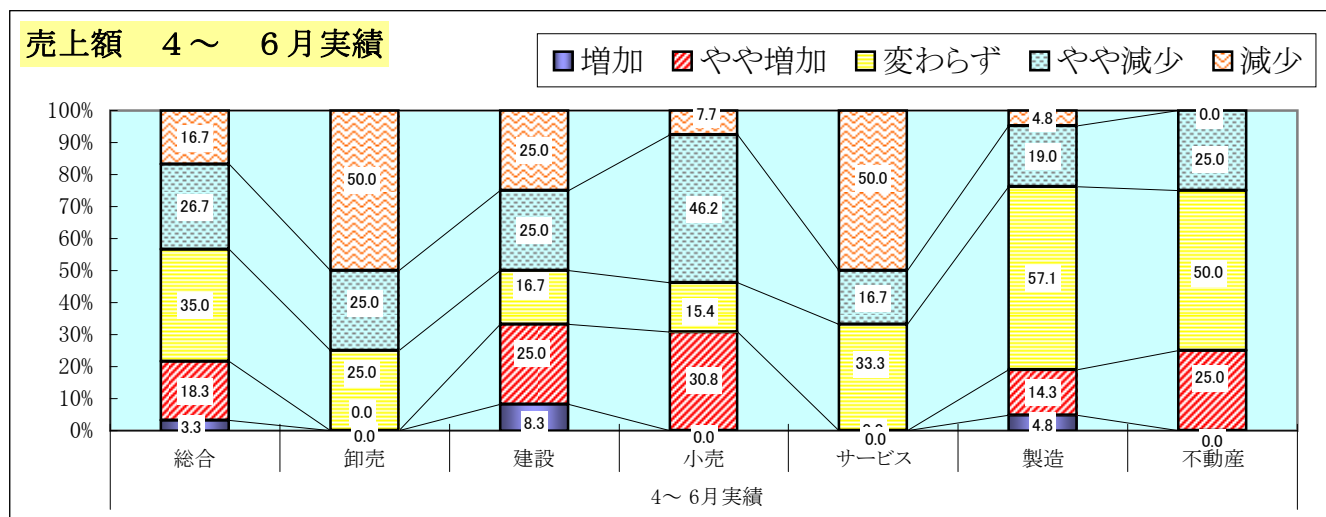
平成22年7月～9月期(来期)の予想業況判断D Iは、今期実績比2.4ポイント改善の▲37.3と、緩やかながらも改善基調を維持する見通しとなっています。地域別では南九州以外の10地域で小幅の改善が見込まれています。

《注》 DI(判断指数) …「増加・やや増加」「上昇・やや上昇」と回答した企業の全体に占める構成比から「減少・やや減少」「下降・やや下降」と回答した企業数の構成比を差し引いた数値

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

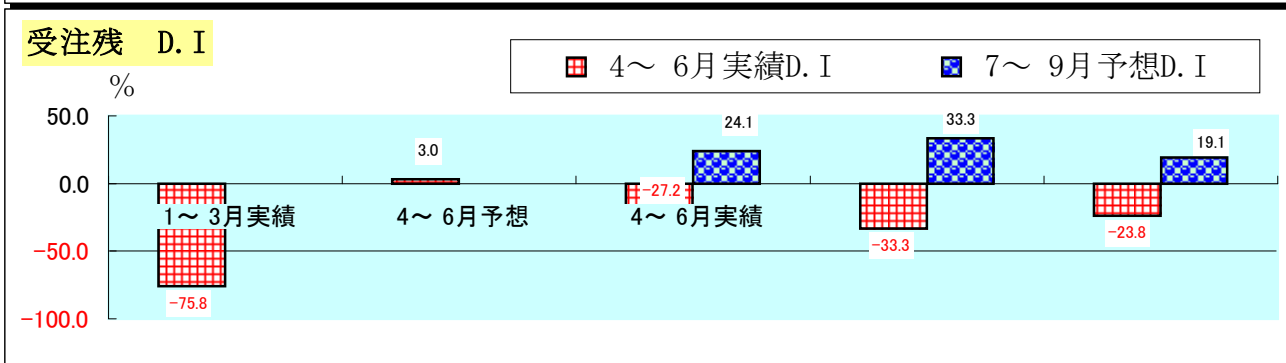
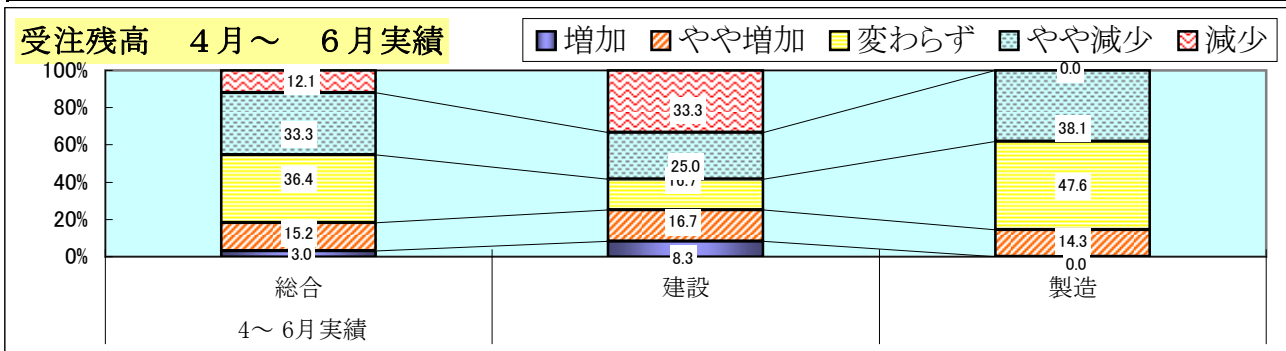
売上額	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-81.7	
4～6月予想						-19.9	
4～6月実績 総合	3.3	18.3	35.0	26.7	16.7	-21.8	5.0
卸売	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	-75.0	-25.0
建設	8.3	25.0	16.7	25.0	25.0	-16.7	33.4
小売	0.0	30.8	15.4	46.2	7.7	-23.1	-15.4
サービス	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	-66.7	-66.7
製造	4.8	14.3	57.1	19.0	4.8	-4.7	23.8
不動産	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0



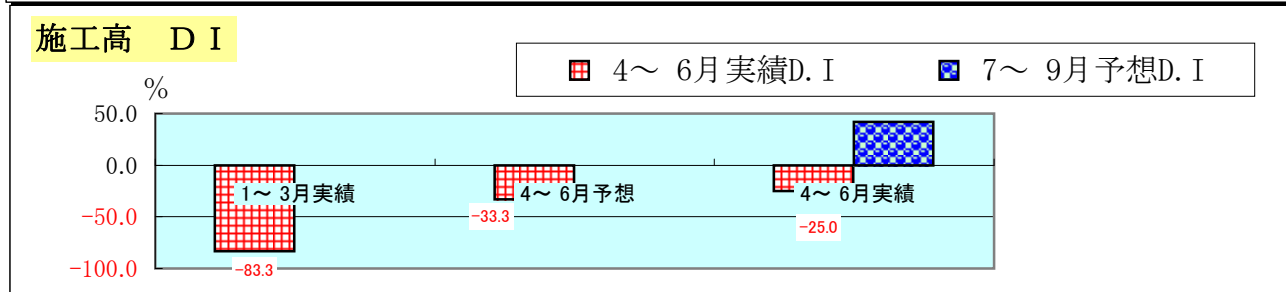
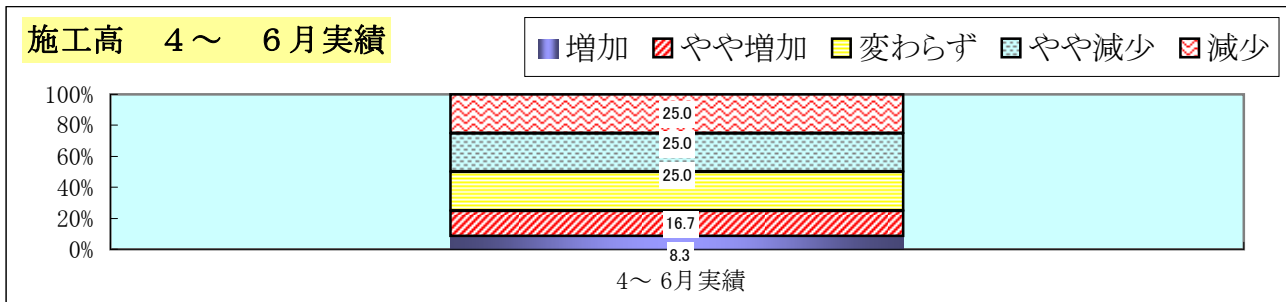
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の21.6%、「減少」「やや減少」した企業は43.4%を示し、D Iは▲21.8となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲81.7から59.9ポイント改善を示したものの、前回調査における今期の予想D Iの▲19.9からは1.9ポイントの悪化を示しました。
- 業種別の今期D Iは、不動産業を除く全ての業種で減少傾向を示しています。
- 7～9月期の売上額予想D Iは5.0で、4～6月実績より26.8ポイント上昇を予想しています。

(2) 受注残・施工高の動き

受注残高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-75.8	
4～6月予想						3.0	
4～6月実績 総合	3.0	15.2	36.4	33.3	12.1	-27.2	24.1
建設	8.3	16.7	16.7	25.0	33.3	-33.3	33.3
製造	0.0	14.3	47.6	38.1	0.0	-23.8	19.1



施工高	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-83.3	
4～6月予想						-33.3	
4～6月実績	8.3	16.7	25.0	25.0	25.0	-25.0	41.7

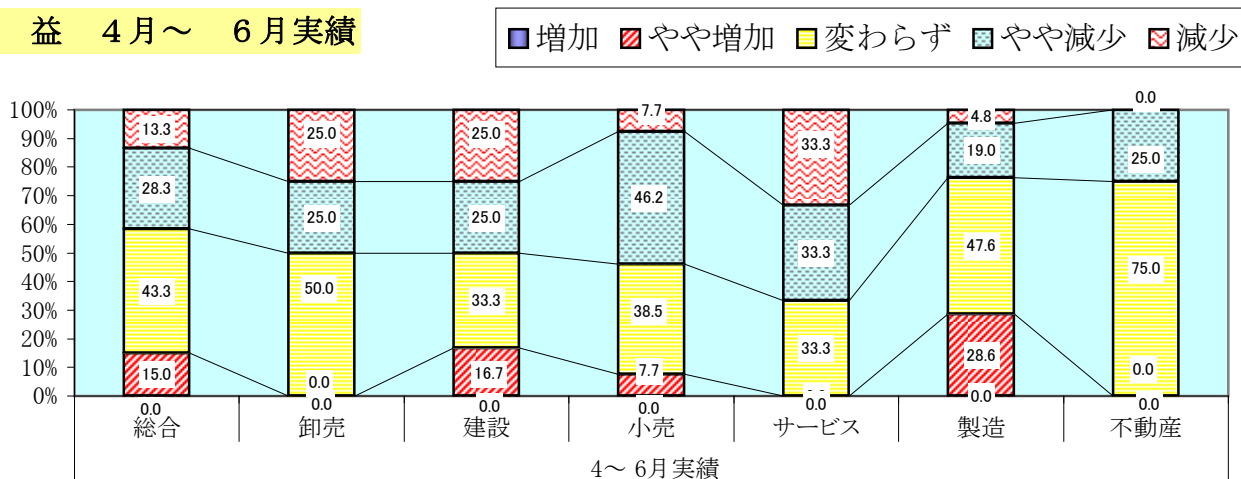


- 受注残(製造業、建設業のみ) D.Iは▲27.2で前期実績D.Iの▲75.8に対し48.6ポイント改善し、前期調査における今期の予想D.I 3.0に対しては30.2ポイントの悪化を示しました。
また、7～9月期の受注残予想D.Iは24.1で、今期実績対比51.3ポイントの上昇を予想しています。
- 施工高(建設業のみ) D.Iは▲25.0で、前期実績のD.Iの▲83.3に対し58.3ポイント改善し、前回調査における今期予想D.I ▲33.3に対しては8.3ポイントの良化を示しました。
また、7～9月期の施工高予想D.Iは41.7で、今期実績対比66.7ポイントの上昇を予想しています。

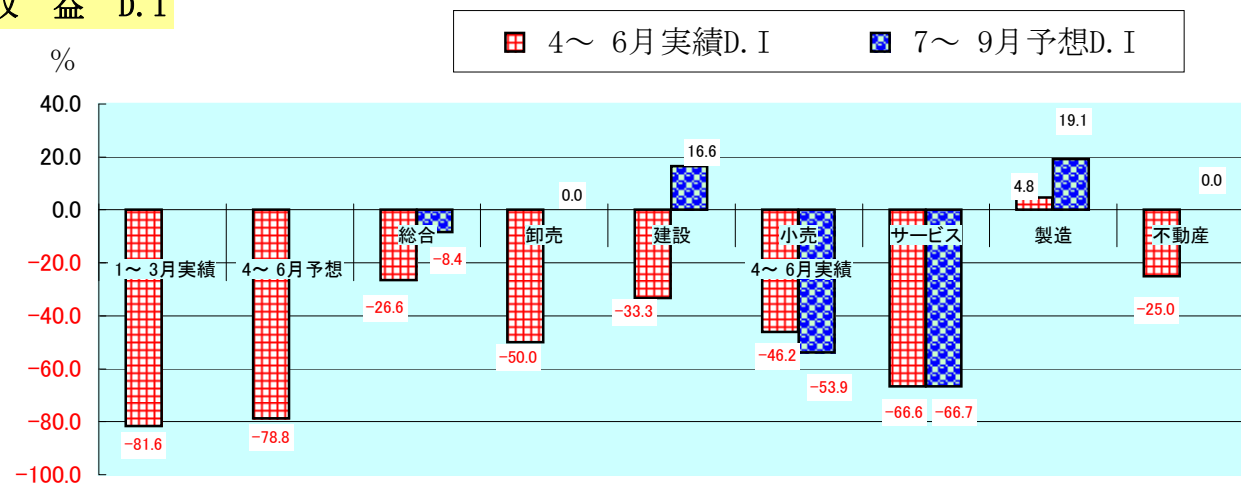
(3) 収益の動き

収益の動き	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-81.6	
4～6月予想						-78.8	
4～6月実績総合	0.0	15.0	43.3	28.3	13.3	-26.6	-8.4
卸売	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	-50.0	0.0
建設	0.0	16.7	33.3	25.0	25.0	-33.3	16.6
小売	0.0	7.7	38.5	46.2	7.7	-46.2	-53.9
サービス	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	-66.6	-66.7
製造	0.0	28.6	47.6	19.0	4.8	4.8	19.1
不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	0.0

収益 4月～6月実績



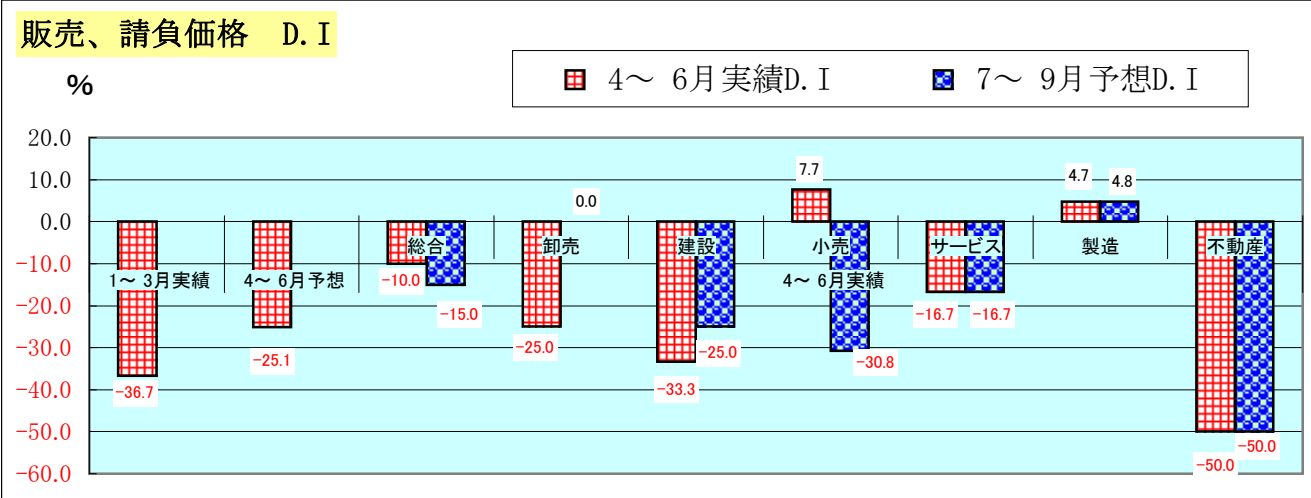
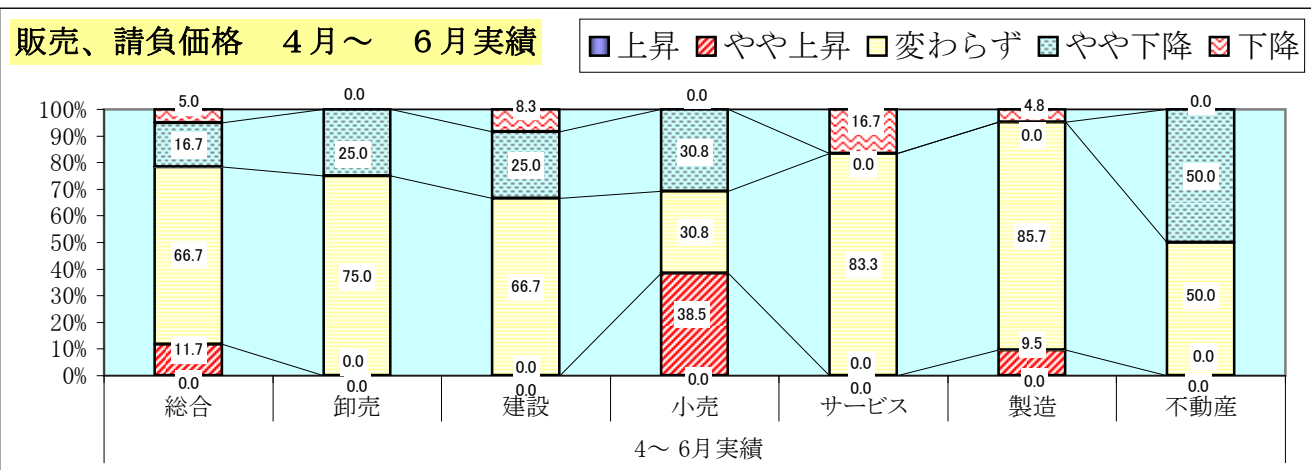
収益 D.I



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は15.0%、「やや減少」「減少」した企業は41.6%でD Iは▲26.6となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲81.6から55.0ポイント上昇を示し、前回調査における今期の予想D Iの▲78.8に対しても52.2ポイントの上昇を示しました。
- 業種別の今期D Iは、製造業のみが増加傾向を示しています。
- 7～9月期の収益予想D Iは▲8.4で、4～6月期実績対比18.2ポイント上昇を予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

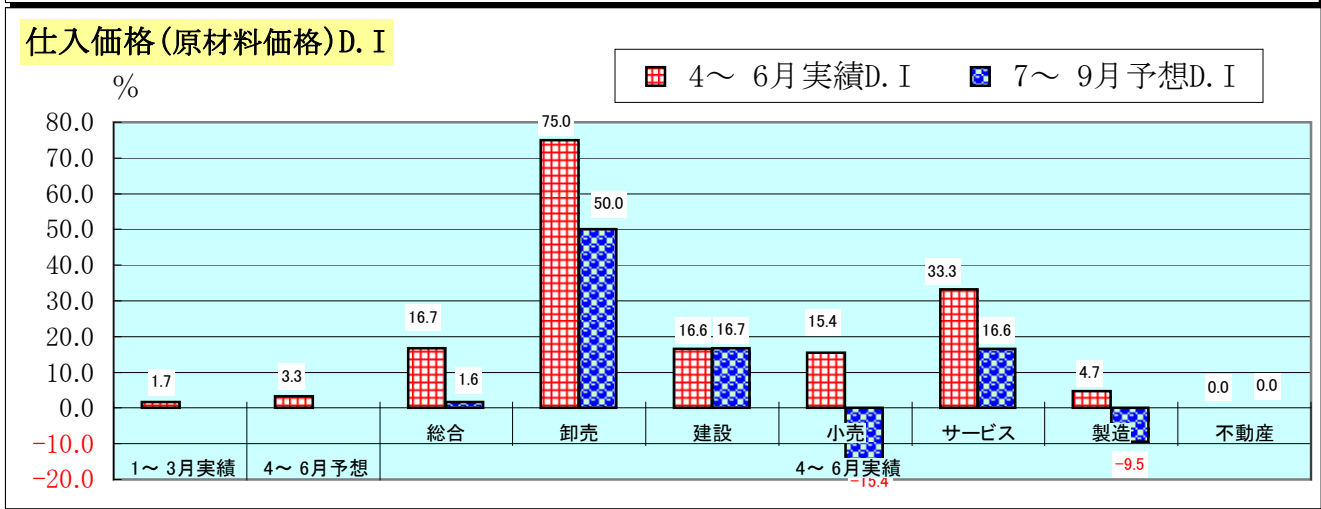
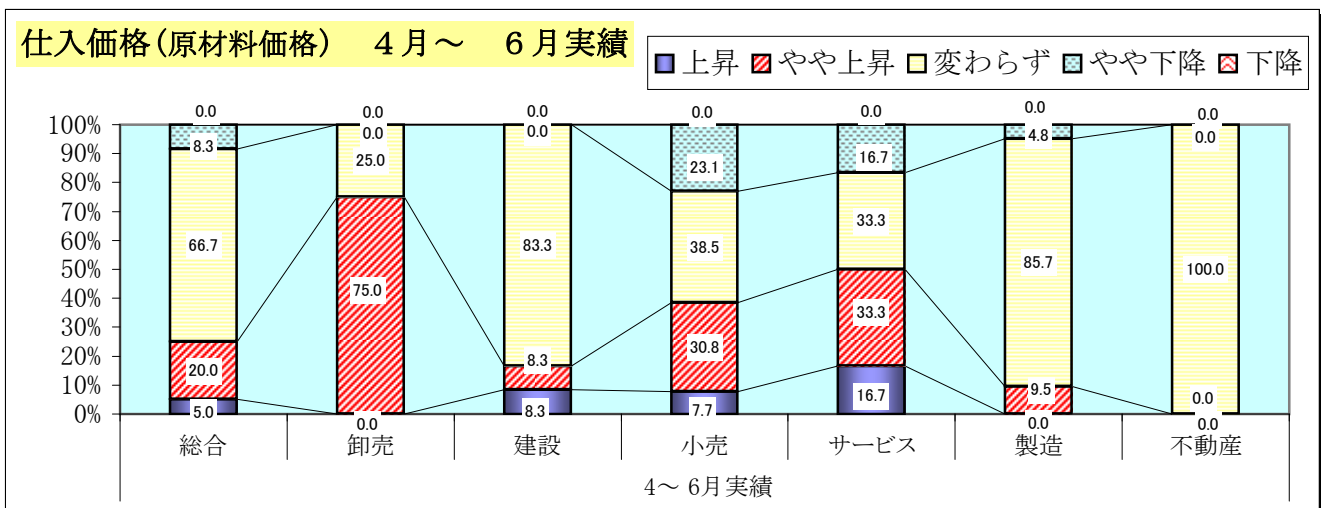
販売価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-36.7	
4～6月予想						-25.1	
4～6月実績 総合	0.0	11.7	66.7	16.7	5.0	-10.0	-15.0
卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	0.0
建設	0.0	0.0	66.7	25.0	8.3	-33.3	-25.0
小売	0.0	38.5	30.8	30.8	0.0	7.7	-30.8
サービス	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7	-16.7	-16.7
製造	0.0	9.5	85.7	0.0	4.8	4.7	4.8
不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	-50.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が11.7%、「やや下降」「下降」と回答している企業が21.7%となり、D Iは▲10.0となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの▲36.7から26.7ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D I ▲25.1よりも15.1ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、小売・製造業を除いた他の業種で下降傾向を示しました。
- 7～9月期の販売価格予想D Iは▲15.0で、4～6月期実績対比5.0ポイント下降を予想しています。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

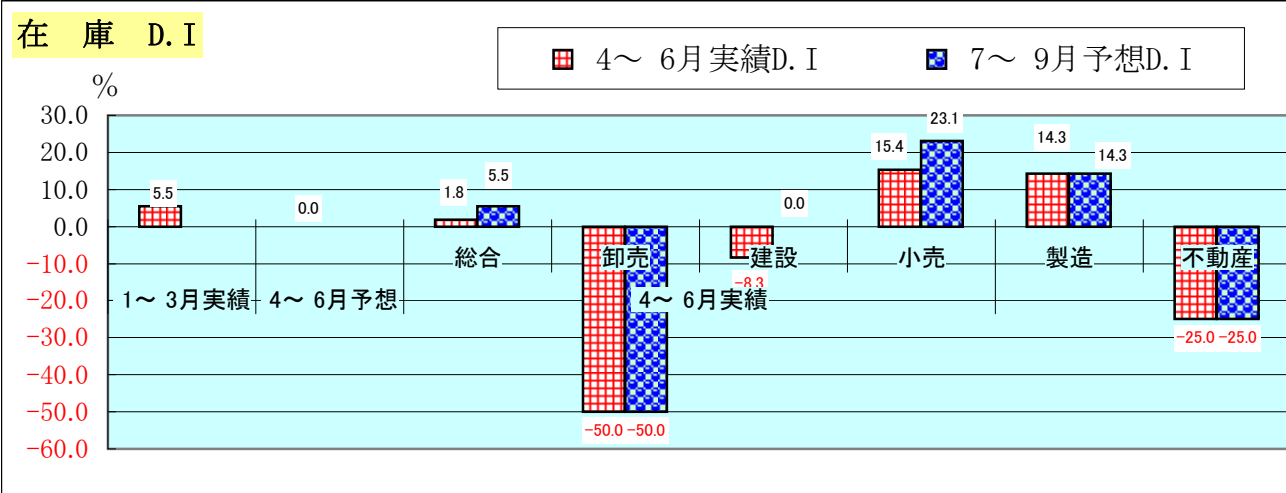
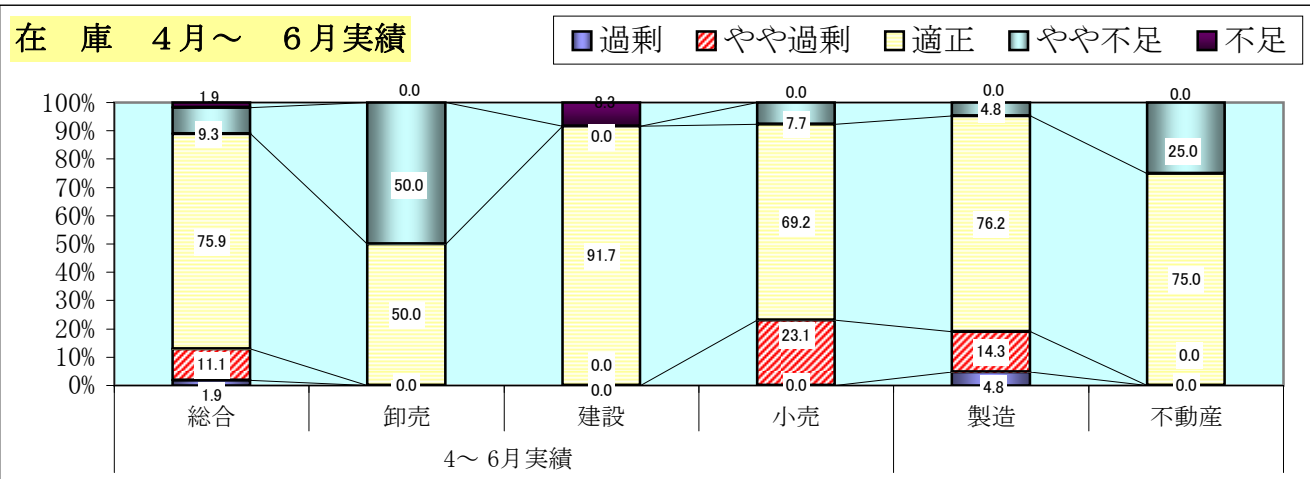
仕入価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						1.7	
4～6月予想						3.3	
4～6月実績 総合	5.0	20.0	66.7	8.3	0.0	16.7	1.6
卸売	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0
建設	8.3	8.3	83.3	0.0	0.0	16.6	16.7
小売	7.7	30.8	38.5	23.1	0.0	15.4	-15.4
サービス	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.6
製造	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	-9.5
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が25.0%、「やや下降」「下降」と回答している企業が8.3%となり、今期実績D Iは16.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの1.7から15.0ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D Iの3.3よりも13.4ポイント上昇を示しました。
- 業種別では不動産業を除き上昇傾向を示しました。
- 7～9月期の予想D Iは1.6で、4～6月期実績対比15.1ポイント下降を予想しています。

(6) 在庫の動き

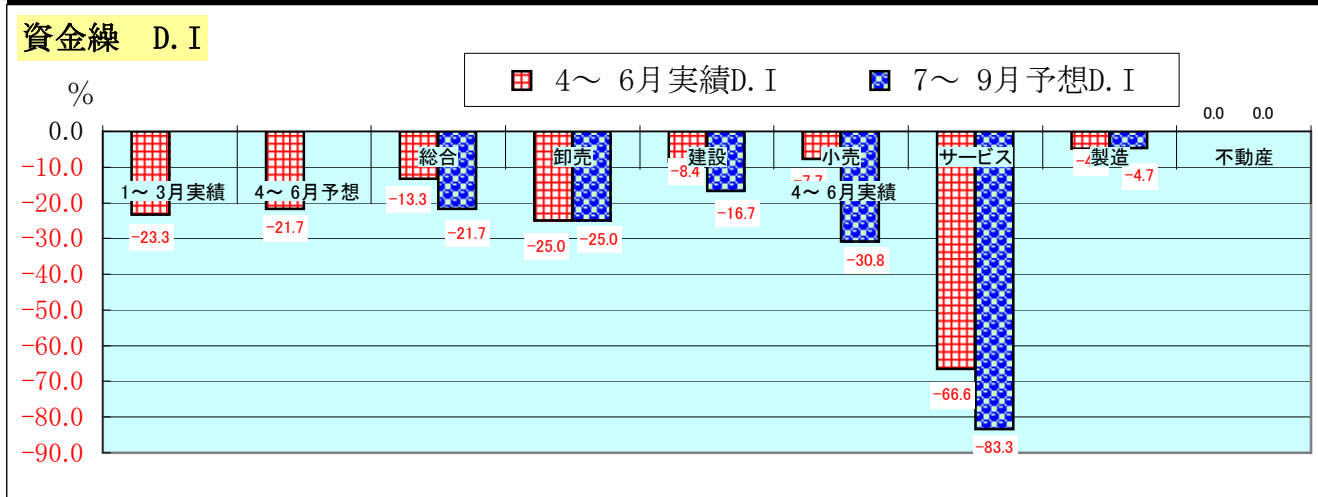
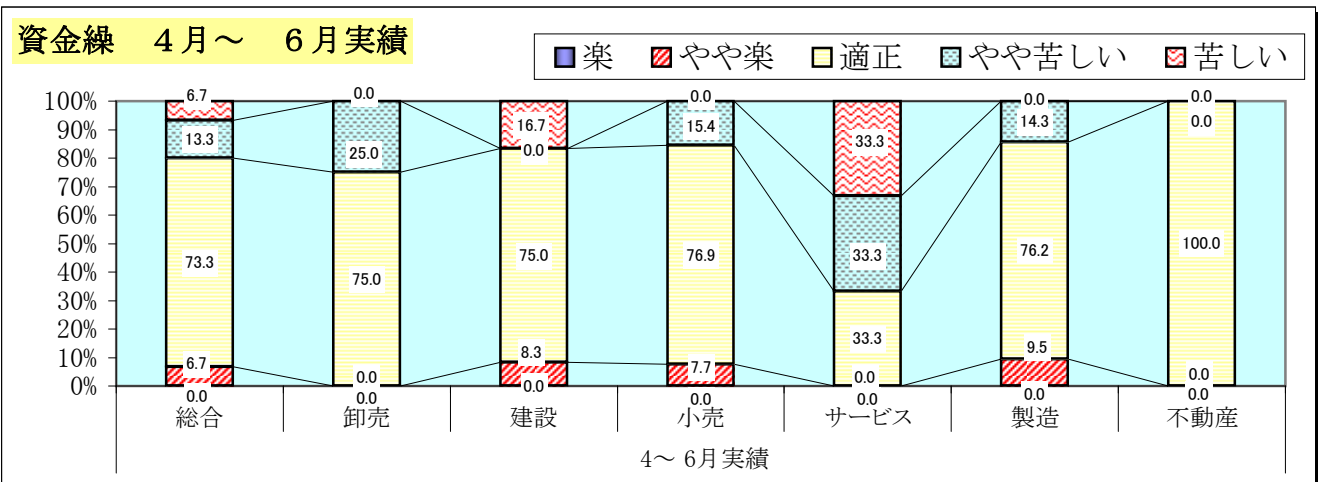
在 庫	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						5.5	
4～6月予想						0.0	
4～6月実績 総合	1.9	11.1	75.9	9.3	1.9	1.8	5.5
卸売	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	-50.0
建設	0.0	0.0	91.7	0.0	8.3	-8.3	0.0
小売	0.0	23.1	69.2	7.7	0.0	15.4	23.1
製造	4.8	14.3	76.2	4.8	0.0	14.3	14.3
不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が13.0%、「やや不足」「不足」と回答している企業が11.2%となり、今期D Iは1.8となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの5.5から3.7ポイント下降し、前回における今期予想D Iの0.0に対しても1.8ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、製造・小売業は過剰傾向となっています。
- 7～9月期の予想D Iは 5.5で、4～6月期実績対比3.7ポイントの上昇を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰り	楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-23.3	
4～6月予想						-21.7	
4～6月実績 総合	0.0	6.7	73.3	13.3	6.7	-13.3	-21.7
卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
建設	0.0	8.3	75.0	0.0	16.7	-8.4	-16.7
小売	0.0	7.7	76.9	15.4	0.0	-7.7	-30.8
サービス	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	-66.6	-83.3
製造	0.0	9.5	76.2	14.3	0.0	-4.8	-4.7
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

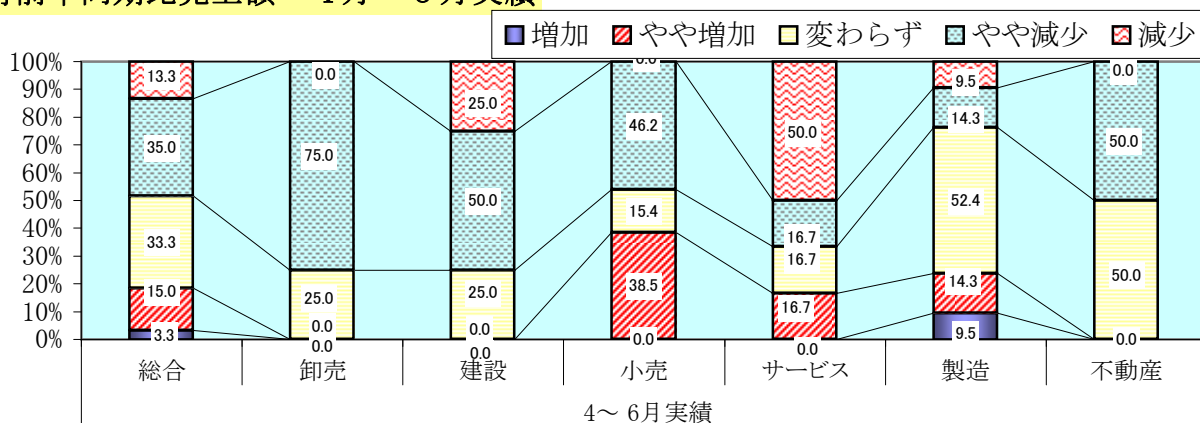


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が6.7%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が20.0%となり、今期D Iは▲13.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D I ▲23.3から10.0ポイント良化を示し、前回調査における今期の予想D I ▲21.7に対しても8.4ポイント良化を示しました。
- 業種別では、不動産業を除く全ての業種で資金繰りは苦しい傾向にあります。
- 7～9月期の予想D Iは▲21.7で、4～6月期実績に比べ8.4ポイントの悪化を予想しています。

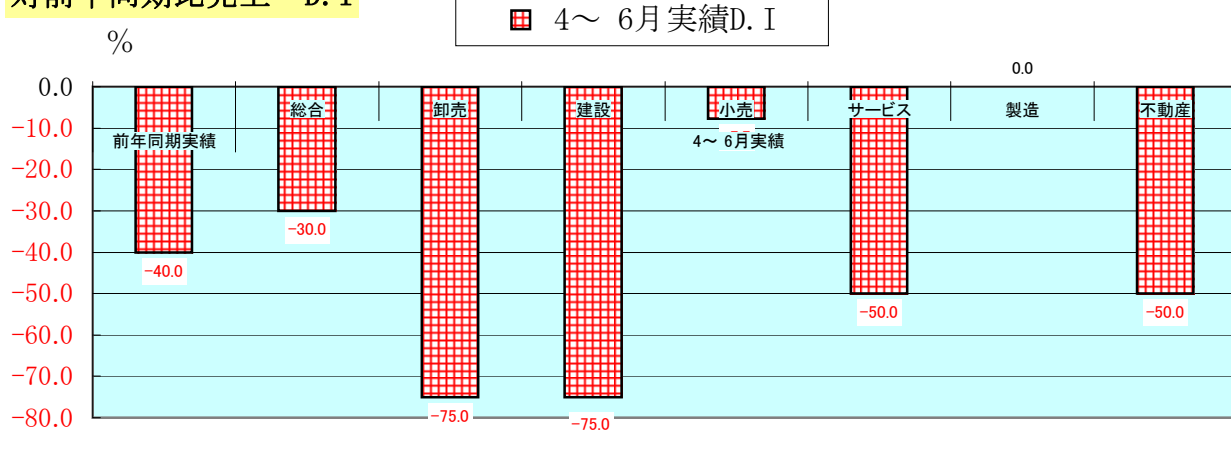
3. 対前年同期に比べた動き (1) 売上

対前年同期比売上	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I
前年同期実績						-40.0
4～6月実績 総合	3.3	15.0	33.3	35.0	13.3	-30.0
卸売	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	-75.0
建設	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	-75.0
小売	0.0	38.5	15.4	46.2	0.0	-7.7
サービス	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	-50.0
製造	9.5	14.3	52.4	14.3	9.5	0.0
不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0

対前年同期比売上額 4月～6月実績



対前年同期比売上 D.I

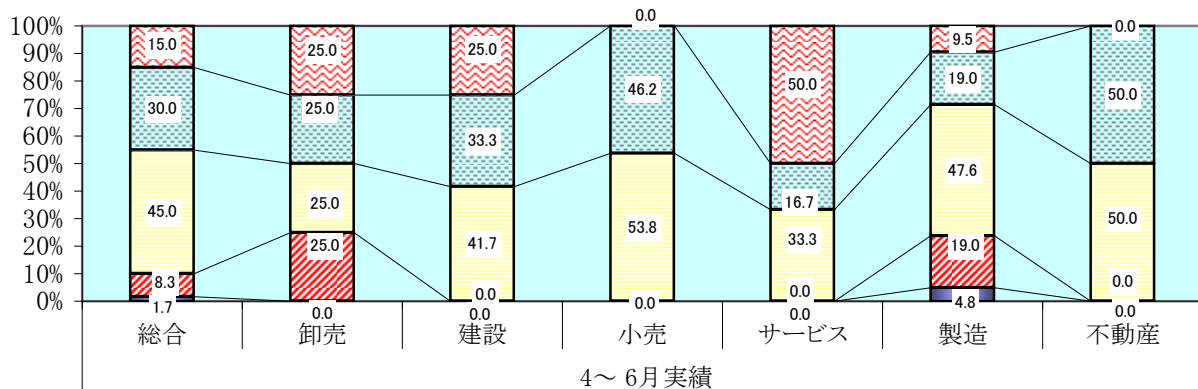


- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が18.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が48.3%となり、今期D.Iは▲30.0となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D.I ▲40.0に対し10.0ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、製造業を除く全ての業種で減少傾向が窺われます。

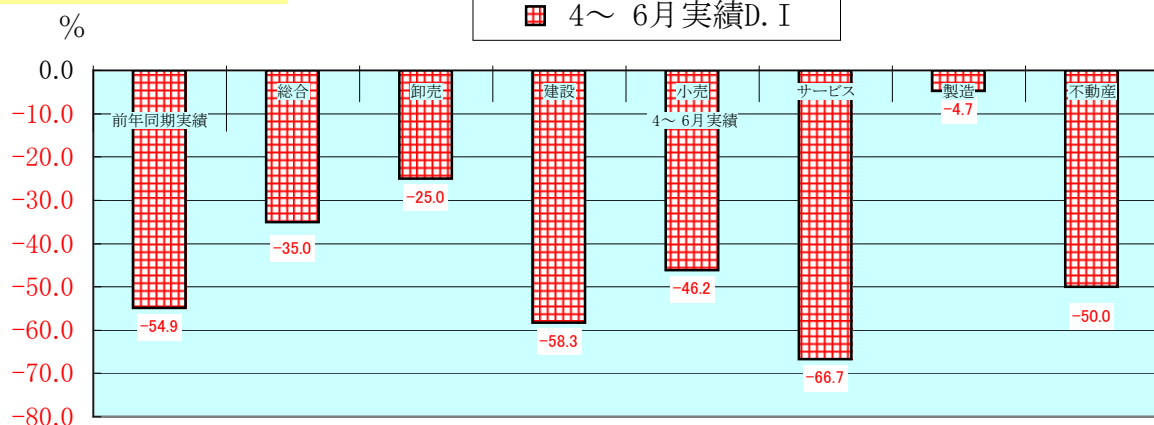
(2) 収益

対前年同期比収益	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I
前年同期実績						-54.9
4～6月実績 総合	1.7	8.3	45.0	30.0	15.0	-35.0
卸売	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-25.0
建設	0.0	0.0	41.7	33.3	25.0	-58.3
小売	0.0	0.0	53.8	46.2	0.0	-46.2
サービス	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	-66.7
製造	4.8	19.0	47.6	19.0	9.5	-4.7
不動産	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0

対前年同期比収益 4～6月実績



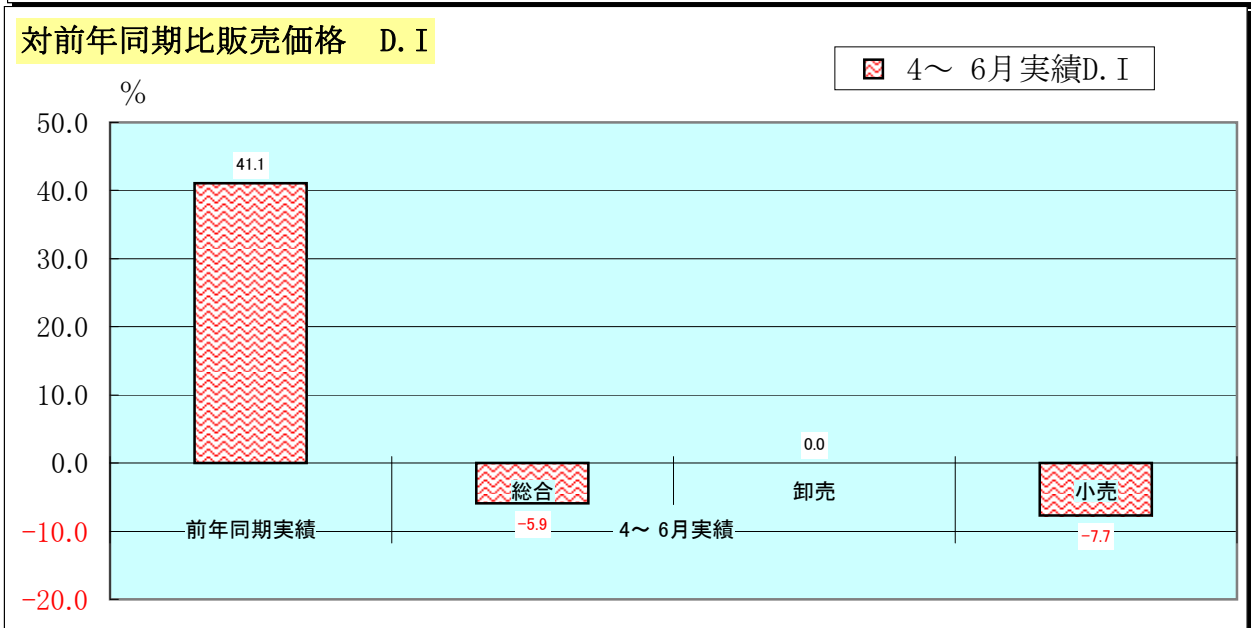
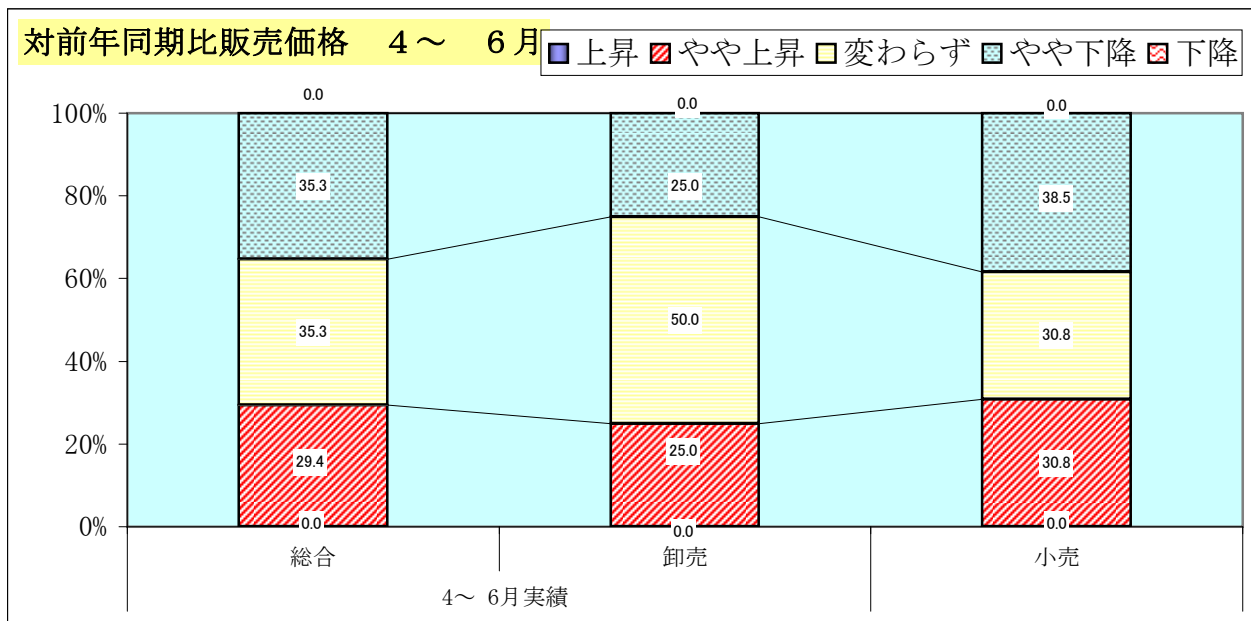
対前年同期比収益 D. I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が10.0%、「やや減少」「減少」と回答している企業が45.0%となり、今期D Iは▲35.0となりました。
- 今期実績は前年同期実績D I ▲54.9に対し、19.9ポイント良化しました。
- 業種別では、全ての業種で減少傾向となっています。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格	上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D.I
前年同期実績						41.1
4～6月実績 総合	0.0	29.4	35.3	35.3	0.0	-5.9
卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
小売	0.0	30.8	30.8	38.5	0.0	-7.7

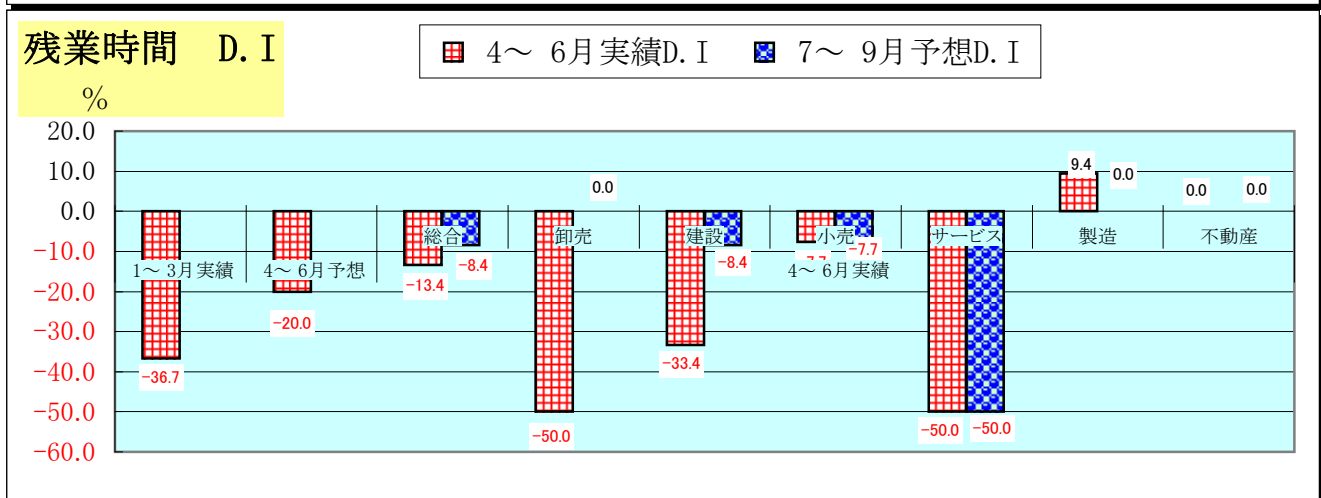
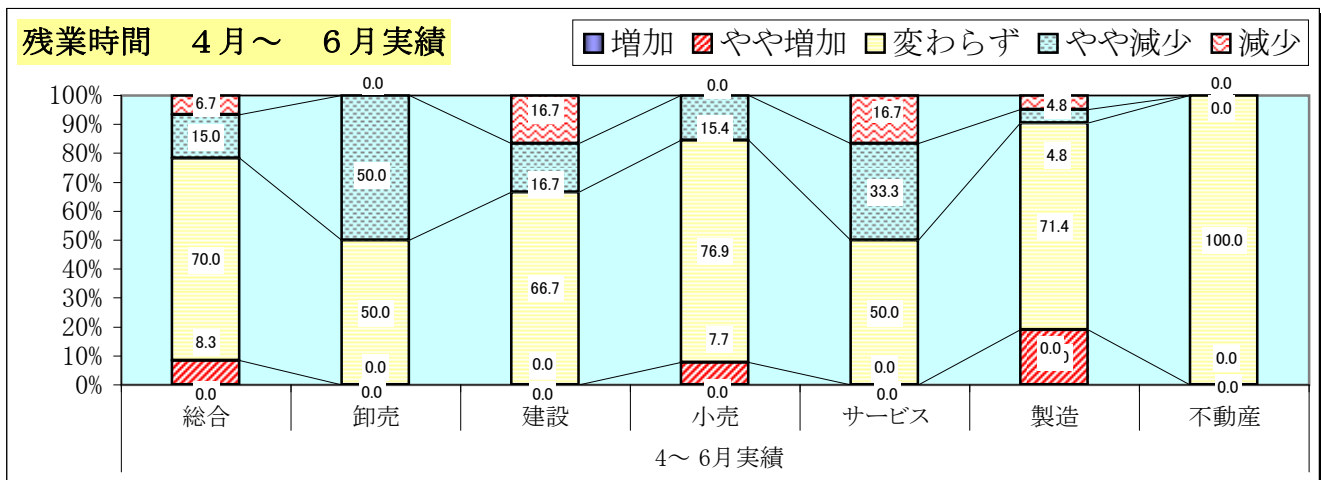


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が29.4%、「やや下降」「下降」と回答している企業が35.3%となり、D Iは▲5.9となりました。
- 今期実績は前年同期実績D Iの41.1に対し47.0ポイント下降を示しました。
- 業種別では、小売業のみ下降しております。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

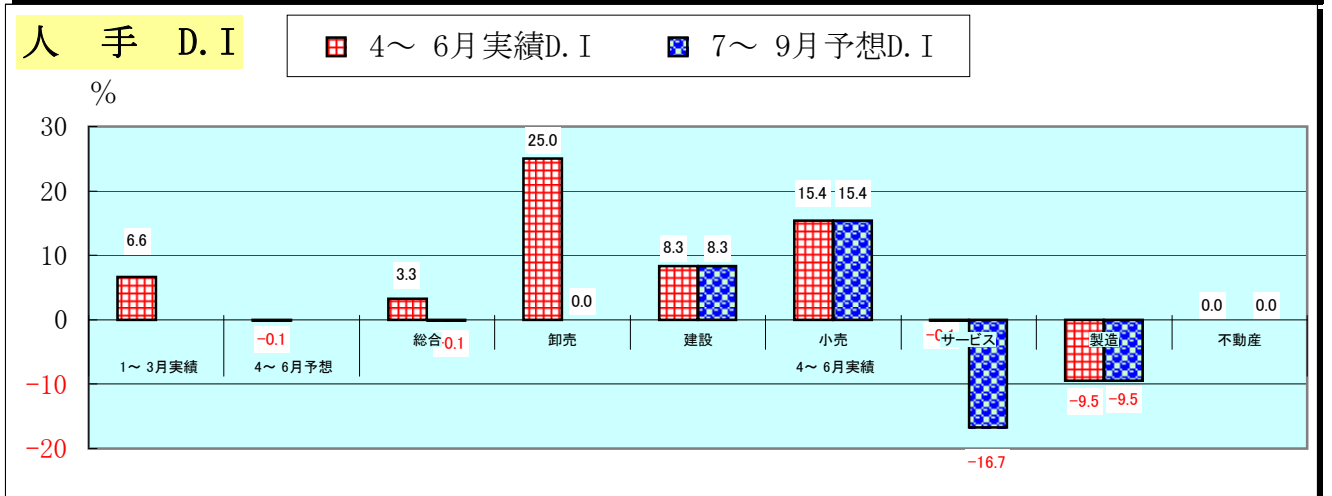
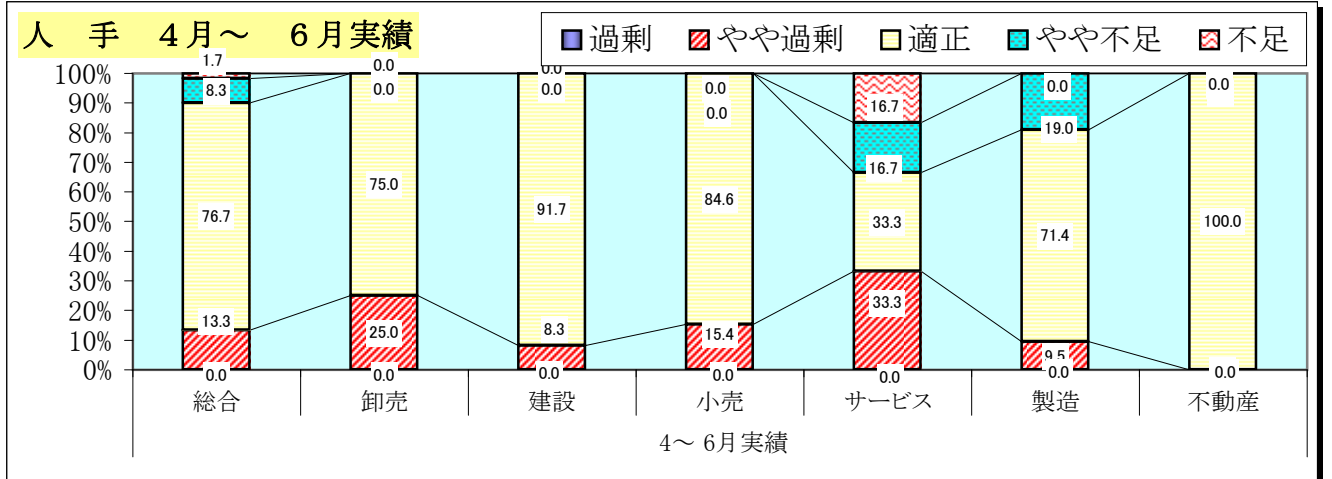
残業時間	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						-36.7	
4～6月予想						-20.0	
4～6月実績 総合	0.0	8.3	70.0	15.0	6.7	-13.4	-8.4
卸売	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	-50.0	0.0
建設	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	-33.4	-8.4
小売	0.0	7.7	76.9	15.4	0.0	-7.7	-7.7
サービス	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	-50.0	-50.0
製造	0.0	19.0	71.4	4.8	4.8	9.4	0.0
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が8.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が21.7%となりD.Iは▲13.4となりました。
- 今期実績は前期実績D.I ▲36.7から23.3ポイント上昇し、前回調査における今期の予想D.I ▲20.0よりは6.6ポイント上昇しました。
- 業種別では、製造・不動産業を除き減少傾向を示しました。
- 7～9月期の予想D.Iは▲8.4で、4～6月期実績より5.0ポイント上昇を予想しています。

(2) 人手

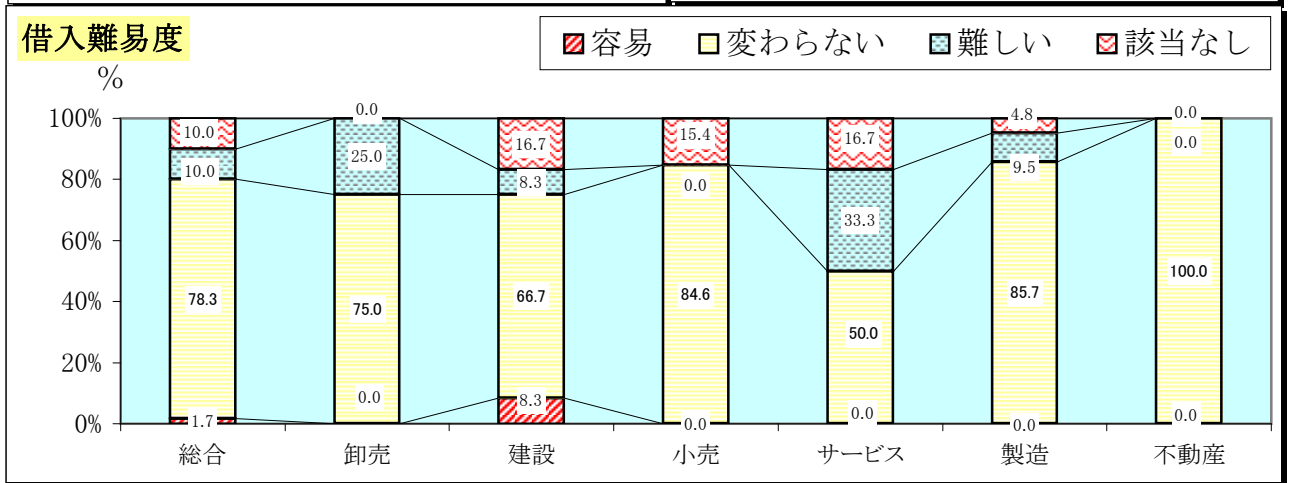
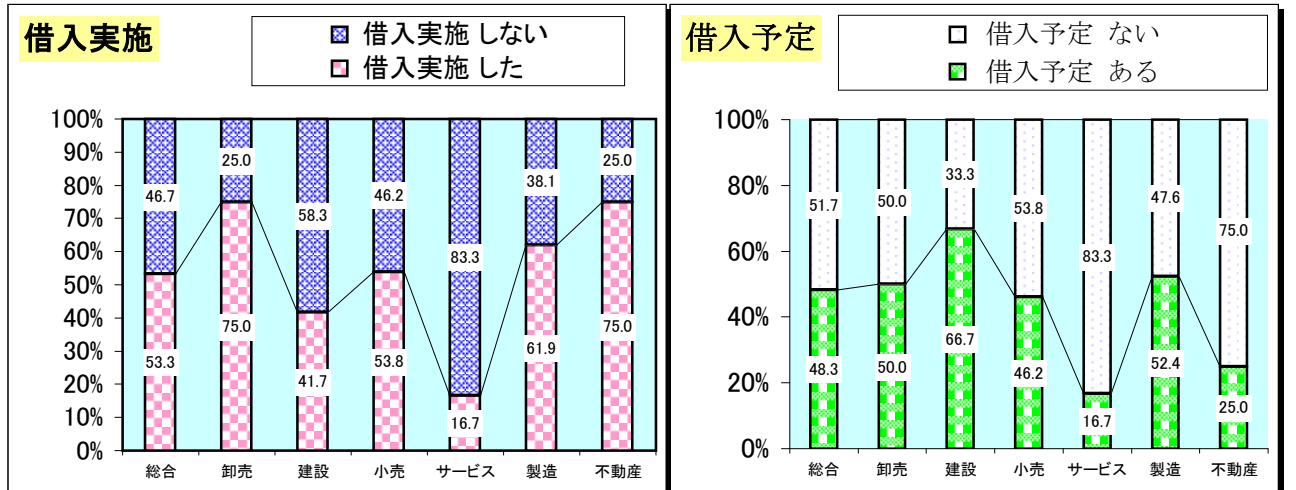
人手	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						6.6	
4～6月予想						-0.1	
4～6月実績 総合	0.0	13.3	76.7	8.3	1.7	3.3	-0.1
卸売	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
建設	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	8.3
小売	0.0	15.4	84.6	0.0	0.0	15.4	15.4
サービス	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	-0.1	-16.7
製造	0.0	9.5	71.4	19.0	0.0	-9.5	-9.5
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が13.3%、「やや不足」「不足」と回答している企業が10.0%となり、D Iは3.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの6.6から3.3ポイント下降し、前回調査における今期の予想D I ▲0.1よりも3.4ポイント上昇を示しました。
- 業種別では、建設・小売業で過剰傾向となっています。
- 7～9月期予想D Iは▲0.1で、4～6月期の実績D Iより3.4ポイント下降を予想しています。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	53.3	46.7	48.3	51.7	1.7	78.3	10.0	10.0
卸売	75.0	25.0	50.0	50.0	0.0	75.0	25.0	0.0
建設	41.7	58.3	66.7	33.3	8.3	66.7	8.3	16.7
小売	53.8	46.2	46.2	53.8	0.0	84.6	0.0	15.4
サービス	16.7	83.3	16.7	83.3	0.0	50.0	33.3	16.7
製造	61.9	38.1	52.4	47.6	0.0	85.7	9.5	4.8
不動産	75.0	25.0	25.0	75.0	0.0	100.0	0.0	0.0

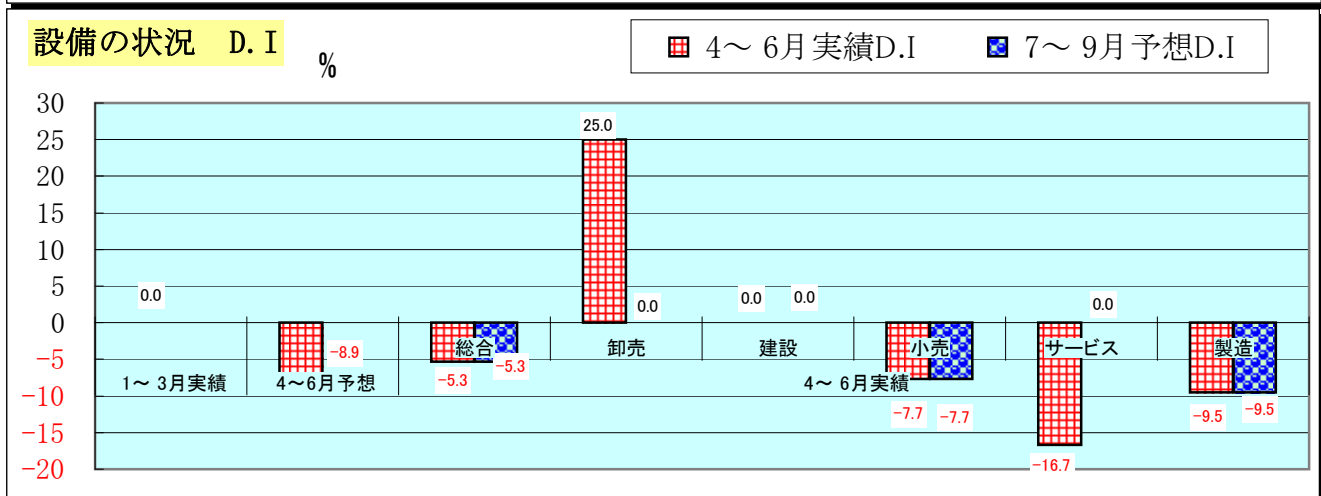
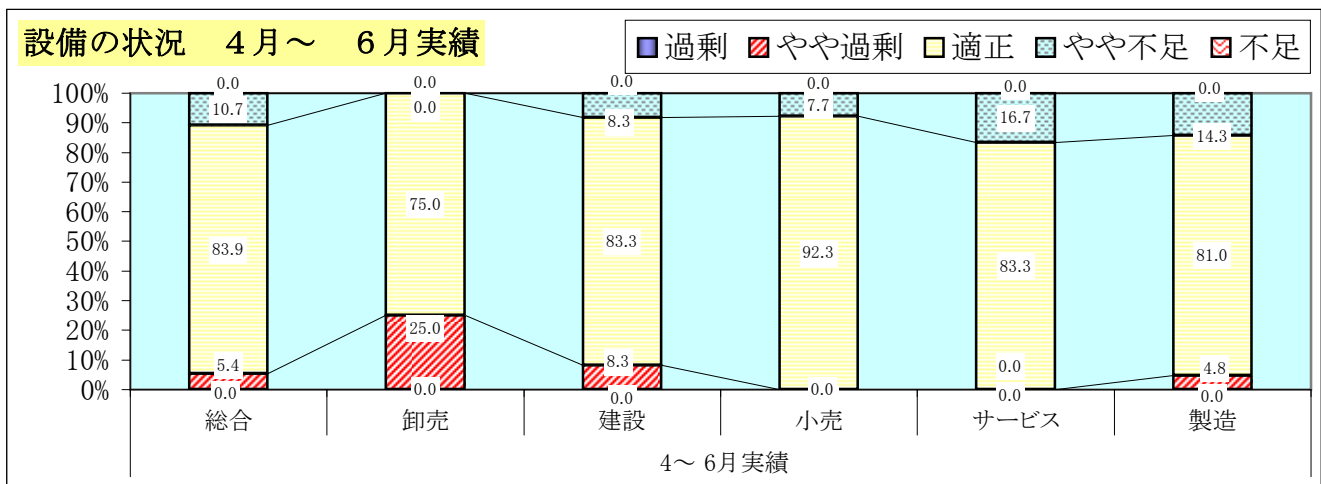


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の53.3%であり、その内、卸売・製造・不動産業は60%以上で借入を実施しています。
前期の調査での借入実施率45.0%に対して、今期の借入実施企業の割合はこれより8.3ポイント上昇しています。
- 今後の借入予定では、48.3%の企業が「予定あり」と回答しています。
業種別では、製造業が52.4%、建設業66.7%、卸売業が50.0%と高率となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が78.3%（前回73.3%）、以下「難しい」は10.0%（前回10.0%）、「容易」は1.7%（前回6.7%）となっております。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D.I	7～9月予想D.I
1～3月実績						0.0	
4～6月予想						-8.9	
4～6月実績 総合	0.0	5.4	83.9	10.7	0.0	-5.3	-5.3
卸売	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
建設	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0
小売	0.0	0.0	92.3	7.7	0.0	-7.7	-7.7
サービス	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	0.0
製造	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	-9.5



- 設備の状況(不動産業を除く)について、「不足」「やや不足」と回答している企業が10.7%、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が5.4%となり、今期D Iは▲5.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D Iの0.0に対し5.3ポイント下降し、前回調査における今期の予想D Iの▲8.9よりは3.6ポイント上回りました。
- 業種別では、小売・製造業で不足傾向を示しました。
- 7～9月期予想D Iは▲5.3で、横ばいを予想しています。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4月～6月 (件数) 総合	2	4	2	1	2	1	131
卸売	0	1	0	0	0	0	11
建設	0	1	1	0	1	0	32
小売	0	0	0	0	0	0	15
サービス	2	1	0	0	1	1	13
製造	0	1	1	1	0	0	60

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7月～9月 (件数) 総合	1	4	6	1	2	1	129
卸売	0	0	1	0	0	0	11
建設	0	1	2	0	1	0	31
小売	0	0	1	0	1	0	14
サービス	1	1	0	0	0	1	15
製造	0	2	2	1	0	0	58

- 設備投資(不動産業除く)の実施状況は、「実施した」企業が延べ12件(全体の8%)で前期の13件を1件下回りました。

業種別内訳では、サービス業で5件、建設・製造業で3件、卸売業で1件が実施しました。

実施した設備内容は「機械新增設」で4件、「土地建物」「機械更新」「車両」で各2件、「事務機器」「その他」各1件となっています。

- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した企業は15件(全体の10%)で、前期の13件を2件上回ります。

業種別内訳では製造業が5件、建設業4件、サービス業3件、小売業2件、卸売業1件が予定されています。

設備投資計画の内容を見ると、「機械更改」6件、「機械新增設」4件、「車両」2件、「土地・建物」「事務機器」・「その他」各1件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	4	4	11	11	7	12	5	3	11	12	2	1	40	43	27.4	28.3
同業者間の競争激化	0	0	9	8	1	3	2	1	9	9	2	1	23	22	15.8	14.5
利幅の縮小	1	2	6	7	3	6	2	1	4	5	3	3	19	24	13.0	15.8
人件費の増加	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	0	3	2	2.1	1.3
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	0	3	3	2.1	2.0
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	0	1	2	4	1.4	2.6
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	0	3	0	1	1	1	3	0	1	6	6	4.1	3.9
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	0	4	3	2.7	2.0
天候の不順	0	1	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0	2	5	1.4	3.3
代金回収の悪化	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	3	2	2.1	1.3
原材料高・材料価格の上昇	0	0	1	2	0	0	2	2	3	1	0	0	6	5	4.1	3.3
地場産業の衰退	0	0	4	2	1	1	2	0	2	2	0	0	9	5	6.2	3.3
集客力の低下	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	2.7	1.3
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.7	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1.4	1.3
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	0	0	4	2	2.7	1.3
人手不足	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	1	5	0.7	3.3
商圏人口の減少	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	1.4	2.6
取引先の減少	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0.7	1.3
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
輸入製品（商品）との競争激化	2	1	0	0	0	1	0	0	6	3	0	0	8	5	5.5	3.3
問題なし	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.7
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
仕入先からの値上り要請	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1.4	1.3
下請けの確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.7	0.0
合計	11	11	31	31	31	33	19	14	46	54	8	9	146	152	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～「売上の停滞・減少」 43件
 第2位～「利幅の縮小」 24件
 第3位～「同業者間の競争激化」 22件

前期

第1位～「売上の停滞・減少」 43件
 第2位～「利幅の縮小」 23件
 第3位～「同業者間の競争激化」 22件

上位3位の項目は前期と同様です。

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
製造業	売上の停滞・減少 12	同業者間の競争激化 9	利幅の縮小 5
小売業	売上の停滞・減少 12	利幅の縮小 6	商圏人口の減少 4
建設業	売上の停滞・減少 11	同業者間の競争激化 他 8	利幅の縮小 7
サービス業	売上の停滞・減少 3	原材料高・材料価格の上昇 他 2	

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）

（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	3	3	10	10	8	9	4	1	15	20	1	2	41	45	28.7	30.6
販路を広げる	2	3	10	8	0	0	2	1	19	15	2	2	35	29	24.5	19.7
情報力を強化する	3	2	7	6	0	0	0	0	10	10	2	2	22	20	15.4	13.6
人材を確保する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	1	5	0.7	3.4
技術力を強化（高める）	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1.4	2.0
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	0	0	5	4	3.5	2.7
機械化を推進する	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1.4	0.7
パート化を図る	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.0
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	3	2	2.1	1.4
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
新しい事業を始める	0	0	0	0	5	4	4	2	0	0	1	2	10	8	7.0	5.4
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.7	0.7
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	2.1	2.0
特になし	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	0.7	1.4
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	2	4	1.4	2.7
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0.7	1.4
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.7	0.0
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3	0.7	2.0
営業時間を延長する	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	2.8	2.7
提携先を見つける	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	2	3	1.4	2.0
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.7
合計	10	8	30	31	27	30	15	11	52	57	9	10	143	147	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 45 件
 第2位～ 「販路を広げる」 29 件
 第3位～ 「情報力を強化する」 20 件

前期		
第1位～	「経費を節減する」	45 件
第2位～	「販路を広げる」	35 件
第3位～	「情報力を強化する」	14 件

以下、上位 3位までが前期と同様となっています。

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位
製造業	経費を節減する 20	販路を広げる 15
建設業	経費を節減する 10	販路を広げる 8
小売業	経費を節減する 9	新しい事業を始める他 4
サービス業	店舗・設備を改装する 4	新しい事業を始める他 2

特別調査

「中小企業が金融機関に期待すること」

問 1

金融機関(調査信用金庫を含む全ての取引金融機関)の融資姿勢について、どのような取組について期待していますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 保証協会付融資や制度融資	2. プロパー融資	3. 新規融資や創業融資	4. 資金供給(取引継続)の安定性	5. 担保に過度に依存しない融資	6. 保証に過度に依存しない融資	7. 決算書のみには頼らない目利き力に基づく融資	8. 融資条件変更への対応	9. 審査期間の短縮化への取組	10. 特になし
合計(構成比)	6%	8%	0%	21%	10%	11%	17%	9%	9%	9%
総合	8	11	0	29	14	15	23	13	13	13
卸売	0	0	0	3	0	2	2	1	1	1
建設	3	2	0	6	2	2	5	2	2	2
小売	0	2	0	6	3	3	6	4	4	4
サービス	1	0	0	3	0	2	2	3	3	3
製造	4	4	0	10	7	6	4	3	3	3
不動産	0	3	0	1	2	0	4	0	0	0

上記、金融機関に望む融資の取組姿勢については、「資金供給の安定性」が21%、「決算書のみには頼らない目利き力に基づく融資」が17%を占め、「保証に過度に依存しない融資」が11%と続く結果となっております。

問 2

金融機関と継続的な関係を維持する上で、金融機関の渉外担当者等のどのような役割や行動に満足している、または今後期待しますか。下記の中から3つ選んでお答えください。

	1. 金融商品販売のプロ	2. 経営者個人の資金活用コンサルタント	3. 貴社の財務改善の提言をするコンサルタント	4. 貴社の事業や業務改善の提言をするコンサルタント	5. 経営者の悩みの聴き手	6. 領域を問わないさまざまな情報の提供者	7. 他社や地域とのコーディネーター	8. 集金などの細やかなサービス提供	9. 貴社の商材の紹介など	10. その他
合計(構成比)	14%	1%	17%	16%	13%	27%	9%	1%	1%	1%
総合	15	1	18	17	13	28	9	1	1	1
卸売	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0
建設	1	0	5	5	4	7	1	0	0	0
小売	7	1	3	3	3	5	2	0	0	0
サービス	1	0	0	1	1	4	3	0	0	0
製造	4	0	6	4	5	8	2	1	1	1
不動産	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0

上記渉外担当者等の役割や行動への期待については、「領域を問わないさまざまな情報の提供」が27%、「財務改善の提言をするコンサルタント」が17%占め、「事業や業務改善の提言をするコンサルタント」が16%と続き、情報提供・コンサルタントに対する期待が窺われます。

問 3

最近、インターネットを利用した預金や決済などの取引(インターネットバンキング:ファームバンキングを含みます)を利用する動きが広がっています。貴社では、インターネットバンキングを利用(予定を含みます)していますか。利用(予定を含みます)している場合は、その理由を1~4の中から、利用していない場合は、その理由を5~0の中から選んでお答えください。

	インターネットバンキングを利用(予定)している				利用していない					
	1. 窓口やATMへ行かなくてよい	2. 時間を気にせず取引ができる	3. 有利な条件で取引できる	4. 取引先から要望された	5. インターネットへの接続環境がない	6. セキュリティに不安がある	7. 取引は対面で行いたい	8. 利用できる人がいない	9. 利用コストが高い	10. 利用するメリットを感じない
合計(構成比)	74%	26%	0%	0%	0%	23%	38%	38%	0%	0%
総合	26	9	0	0	0	3	5	5	0	0
卸売	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
建設	5	2	0	0	0	1	1	2	0	0
小売	3	1	0	0	0	2	0	1	0	0
サービス	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
製造	10	4	0	0	0	0	3	1	0	0
不動産	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

上記のインターネットバンキング利用(予定)先では、「窓口やATMへ行かなくてよい」が74%で最も多く、「時間を気にせず取引ができる」が26%となっております。また、利用していない先は、「取引は対面で行いたい」「利用できる人がいない」がともに38%となっており、「セキュリティに不安がある」が23%が続いています。

特別調査

「中小企業が金融機関に期待すること」

問 4

地域金融機関以外で、貴社の経営面での相談相手として活用している（今後活用したい）存在にはどのようなものがありますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 中小企業支援センター	2. 商工会議所・商工会	3. 各自治体の経営相談所等	4. 同業者団体	5. 中小企業診断士等経営コンサルタント	6. 公認会計士・税理士	7. 仕入先・販売先の経営相談等	8. メガバンク	9. 地元政治家	0. その他
合計（構成比）	13%	21%	4%	9%	7%	36%	9%	1%	0%	1%
総合	15	23	4	10	8	40	10	1	0	1
卸売	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0
建設	3	4	0	5	1	8	2	0	0	0
小売	2	7	1	0	2	8	3	1	0	1
サービス	0	2	1	0	0	5	0	0	0	0
製造	9	7	2	5	4	12	4	0	0	0
不動産	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0

上記質問に対しては、「公認会計士・税理士」が36%、「商工会議所・商工会」が21%となり、「中小企業支援センター」が13%と続く結果となりました。

問 5

ゆうちょ銀行について、預入限度の引上げや各種ローン（中小企業向け個人向け）の開始が見込まれています。ゆうちょ銀行がこれらの業務を拡張した場合、貴社（経営者個人も含みます）はどのように対応しますか。①預入限度額の引上げについては1～5の中から、②各種ローンの開始については6～0の中から、それぞれ1つ選んでお答えください。

	①預入限度額の引上げ					②各種ローンの開始				
	1. 民間より安心と思えるので預入額を増やす	2. 預金金利が高ければ預入額を増やす	3. 預入額を変えるつもりはない	4. 預入額を減らす	5. もともと預入はなく、今後も使わない	6. 政府に近い銀行なので使いたい	7. 金利が低ければ使いたい	8. 保証・担保など条件がよければ使いたい	9. 集金・相談などのサービスがよければ使いたい	0. 使うつもりはない
合計（構成比）	15%	23%	22%	2%	38%	5%	32%	14%	3%	46%
総合	9	14	13	1	23	3	19	8	2	27
卸売	0	1	0	0	2	0	2	0	0	3
建設	1	2	2	1	6	0	3	3	0	6
小売	2	3	4	0	4	1	5	2	1	4
サービス	1	2	1	0	2	0	2	0	1	3
製造	1	6	6	0	5	2	7	1	0	9
不動産	4	0	0	0	4	0	0	2	0	2

上記の質問に対しては、①預入限度額の引き上げで「もともと預入はなく、今後も使わない」が38%、次いで「預金金利が高ければ預入額を増やす」が23%となっており、②各種ローンの開始で「使うつもりはない」が46%、「金利が低ければ使いたい」が32%と続いています。